

### 杉戸町平和都市宣言

明るい日差しのもと 笑顔が輝き  
古利根の水と田園の緑豊かなこの地に  
実ある幸せ  
平和であることを 今かみしめて...

わたしたちの願いは、同じ地球市民として、一人ひとりのかけがえない命を大切にし、限らない繁栄と平和な日々を送ることです。わたしたちは、過去の歴史の教訓を謙虚に学び、人が人を傷つけ命を奪い合うことの愚かさを知り、二度と戦争の悲劇は繰り返さないと決意します。そして唯一の被爆国民として、核兵器の完全な廃絶を強く訴えます。わたしたち杉戸町民は、世界の恒久平和の確立を願い、戦後五十年にあたり、「ここに「平和都市」を宣言します。」

平成七年八月九日制定

杉戸町

### 町の平和関連事業

- 平成7年8月 「平和都市宣言」を制定
- 10月 平和記念式典を開催  
平和を願ってオリーブの木を倉松公園に植樹
- 平成14年8月 「平和のつどい」を開催
- 平成15年2月 千羽鶴を広島平和文化センターに送付

平和写真展・平和見学会などを毎年実施

## 北蓮沼と大塚地区の空襲

第二次世界大戦があと3か月たらずで終わろうとしていた昭和20年5月25日、夜11時15分頃、杉戸、春日部周辺に空襲警報のサイレンがけたたましく鳴り響きました。間もなく、暗闇の中、尾翼付近から火を吹きながらアメリカ軍爆撃機B29が春日部方面から飛んでくるのが見えました。そして、北蓮沼、大塚地区上空で突然、焼夷弾を投下しました。この空襲により、大塚地区で5軒、北蓮沼地区で2軒の農家が被爆しました。また、北蓮沼にあった田宮南国民学校と大塚の延命寺も被爆し、全焼しました。その時、死者1名、軽傷10名、全焼家屋8棟、半焼家屋18棟、その他農機具、家畜、食料等を焼かれ、悲惨な犠牲を強いられました。

しかし、なぜ、杉戸町に焼夷弾が落とされたのでしょうか。この空襲を体験した人々の話によると、当夜は、空襲警報が出され停電したため、灯は漏れていなかったことから、



当時の空襲で焼けた田宮南国民学校

【参考資料】さんぽ道②・杉戸の歴史  
\*1 B29 長さ30メートル 幅43メートルの大型戦略爆撃機。延べ1万7千機が日本各地に來襲。16万トンの爆弾を投下しました。広島や長崎に原爆を投下したのもB29でした。  
\*2 焼夷弾 日本を空襲するために開発された、火災を起こすことを目的に作られた爆弾

# 平和 それはすべての人の大きな願い

杉戸町でも空襲の被害があったのを皆さんはご存知でしょうか。戦後60年が経過し、戦争を知らない世代が半数以上を超え、悲惨な戦争を体験した人たちも少なくなりつつあります。町では、平成7年に「平和都市」を宣言し、今年には「杉戸町平和都市宣言10周年」の節目の年でもあります。平和の尊さを後世に伝えるため、戦争の悲惨さを改めて見つめ直してみましよう。



平成7年に植樹したオリーブの木